

---

---

# 地域史研究

—尼崎市立歴史博物館紀要—

---

---

第 122 号

令和 4 年 12 月

## お届けします…

□第 122 号をお届けします。今号は初めての試みで、歴史博物館学芸員との合同企画として本誌面で特集を組みました。巻頭グラビアは、歴史博物館第 7 回企画展「ダンスホールのまち尼崎」（会期：令和 5 年 1 月 7 日～ 3 月 26 日）の主な展示資料をカラーで紹介。巻頭永井論文では戦前期、尼崎がダンスホールの拠点となった歴史的経緯をはじめ、経営者・ダンサーの来歴を含む全体像を詳細に解説しています。続く西村論文ではダンスホール構造物に対する兵庫県の規制をふまえつつ、尼崎市域のダンスホール建築の構造を明らかにしました。また、ダンスパレス経営者であった平井正夫氏と、その長男英雄氏の足跡を辿る調査を進めた子孫の方への当館学芸員桃谷による聞き取り調査成果も掲載しています。

■史料紹介は、尼崎市立歴史博物館所蔵「遠藤厚一氏文書」のうち 1 点を紹介。遠藤家は旧尼崎藩士家（櫻井松平家の家臣）で、遠藤が大坂留守居役勤役中の事件を記録したものです。解説では、尼崎藩大坂留守居役の職務内容をはじめ大坂三町人尼崎又右衛門の職務の一側面などを詳述しています。

□連載企画として、引き続き古代・中世史料、昭和初期の尼崎市の記録翻刻と考察を掲載しました。同じく連載の「あまおぶね」では、上食満の大將軍社にスポットを当てました。食満地区の方々とともに実施したフィールドワークの成果が盛り込まれています。

■今号も充実した内容となっています。どうぞご味読ください。